



新国立劇場 2025/2026 シーズンオペラ

ヨハン・シュトラウスⅡ世 こうもり

Die Fledermaus / Johann Strauss II

2026年1月22日(木)～ 1月29日(木)

会場:新国立劇場オペラパレス 2025年11月8日(土) 10:00～前売開始



令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業



2023年公演より

2026年のニューイヤーは歓喜の幕開けを！心躍る最高のオペレッタ『こうもり』

ワルツ王ヨハン・シュトラウスⅡ世の『こうもり』は、オペラファンにもオペラ初心者にも、大人にも子どもにも、世界中で大人気のオペレッタ。有名な序曲からシュトラウスお得意の軽やかな音楽が続き、美しいワルツやポルカにのせてユーモアいっぱいの喜劇が繰り上げられます。新国立劇場の『こうもり』はウィーンの名テノール、ハインツ・ツェドニクの演出。エレガントで洒脱、ウィーンの香気あふれる舞台は、クリムトの絵から飛び出したようなユーゲント・シュティール風の華やかな美術・衣裳も見どころです。

2025年は生誕200年記念のシュトラウス・イヤー！



2025年はヨハン・シュトラウス生誕200年の記念年。本場ウィーンでは、誕生日の10月25日を中心に、この年末年始までヨハン・シュトラウス関連のイベントが目白押しです。ウィーンに行けない音楽ファンは、オペラパレスの『こうもり』で、ワルツ王の記念年の祝祭を日本から祝いましょう！

＜資料のご請求、ご取材のお問い合わせ＞

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel: 03-5352-5733 / Fax: 03-5352-5709 / E-mail: takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

音楽の都ウィーンの香気いっぱい！エレガントで洒脱なユーモアいっぱいの舞台



ワルツ王シュトラウスⅡ世が作曲した、オペレッタの最高傑作『こうもり』。次々に繰り出される美しいワルツやポルカ、小粋な風刺やユーモアが観客の心を高揚させ、大団円を迎える頃には劇場じゅうが幸福な空気に包まれる、最高の音楽劇です。華と笑いがいっぱい、ウィーン年末年始の風物詩としてもおなじみです。

『こうもり』には陽気で軽妙な応酬、素朴な愛があふれる一方で、人生の浮き沈みに対するほろ苦い哲学も込められ、その深みがいっそう共感を呼びます。『こうもり』が作曲された当時のウィーンの町はウィーン万国博覧会に沸く一方でコレラの流行と株の大暴落に見舞われていました。舞踏会で人々が唱和

する「みな兄弟姉妹となろう」という共生のメッセージは、世界情勢に不安を覚える現在の観客の心にもひと際深く染みることでしょう。

美しい音楽が満載で幸福感のあふれる『こうもり』は、オペラ初心者の方やご家族連れにもお勧めです。こうもり博士のいたづらを一緒に楽しみましょう！



ユーゲント・シュティール調の豪華絢爛な舞台美術・衣裳に注目



『こうもり』の演出はウィーン宮廷歌手の名テノール、ハインツ・ツェドニク。2006年新国立劇場でのこの演出でツェドニクは演出家としてデビュー、この後、翌年のウィーン・フォルクスオーパー『こうもり』などの演出を手がけました。ウィーン出身で『こうもり』の四役をレパートリーとする名テノール歌手ツェドニクは、ウィーン気質が身体の隅々まで沁み込んでいます。小粋でエレガント、洒脱な仕掛けがたくさん用意された正統的な演出は、『こうもり』の魅力を余すところなく伝えます。

ツェドニク演出の『こうもり』は、ウィーン洗練のユーゲント・シュティール調の華やかな舞台美術・衣裳も大きな見どころ。舞台の縁を飾る市松模様、背景を優雅に彩る植物のモチーフなど、舞台はユーゲント・シュティールの感覚で統一してデザインされ、照明の効果で刻々と表情を変えます。金色に輝く幾何学模様や、日本の美感を取り入れた優雅で官能的なラインの衣裳など、クリムトを彷彿させるデザインも盛りだくさんで、美術ファンの心も捉えてやみません。



ドイツ語圏で活躍する芸達者が勢ぞろい。オルロフスキー公爵には藤木大地登場！



銀行家アイゼンシュタイン役は、ベルリン・ドイツ・オペラなどで活躍するテノールのトーマス・ブロンデル。妻ロザリンデには、新国立劇場には『タンホイザー』エリーザベト以来の登場となるサビーナ・ツヴィラク、悪友ファルケにザルツブルク出身でウィーン国立歌劇場、ザクセン州立歌劇場（ドレスデン・ゼンパーオーパー）でも同役を歌っているラファエル・フィンガーロスが出演します。アデーレはハンブルクなどで活躍中のマリア・シャブーニア、フランクはトルコ出身のレヴェント・パキルジ、看守フロッシュには前回も同役に登場し、ウィーン風の酔っ払いポルカを披露したウィーンっ子ホルスト・ラムネクが、好評に応え再登場します。

そして宴の主オルロフスキー公爵には、ウィーンで研鑽を積みカウンターテナーとして羽ばたいた藤木大地が登場。新国立劇場オペラ研修所で学んで国際的なキャリアを築き、マルチな才能を生かして我が国クラシック界の中心を走る藤木大地が、オペラパレスのマスター・オブ・セレモニーとなって、皆様を迎えます。アルフレードはユーゲント・ヘルデンテノールとして大活躍中の伊藤達人、指揮はダルムシュタット歌劇場音楽総監督で、ドイツ語圏を中心に活躍する若手指揮者ダニエル・コーエン。豪華メンバーによる華やかな一夜を、心からお楽しみください。



左より『ジュリオ・チェーザレ』2022年、『Super Angels』2021年、『夏の夜の夢』2020年に出演した藤木大地

<「こうもり」あらすじ>



ウィーン郊外。アイゼンシュタインは顧問弁護士の不手際で禁固刑を受け大憤慨。しかし、悪友ファルケに誘われ、妻ロザリンデには「刑務所へ出頭する」と偽り、変装してオルロフスキー公爵邸の夜会へ。そこで仮面の美女を妻と気づかず口説く。翌朝、刑務所に出頭したアイゼンシュタインは駆けつけた妻の浮気を疑うが、自分の浮気がばれて逆にやり込められる。そこへ、この茶番劇の仕掛人ファルケが現れ、「すべてはシャンパンのいたずら!」と大団円を迎える。

<新国立劇場『こうもり』ダイジェスト映像>

https://youtu.be/vHk4J48_hug?si=rng_MXDndaEQrLYB

令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

文化庁劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業により、『こうもり』に小学生～18歳以下(2007年4月2日以降生まれの方)の方203名様をご招待します。この絶好の機会に、初めてのオペラ鑑賞をぜひご体験ください。

※2007年4月1日以前に生まれた方は対象外となります

【対象公演日】2026年1月22日(木)18:00 *ご招待人数:計203名様

【受付期間】2025年11月8日(土)10:00～～2026年1月21日(水)12:00

詳細はこちら https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_030195.html

<主要キャスト・スタッフプロフィール>

【指揮】ダニエル・コーエン

Daniel COHEN

2018年よりダルムシュタット州立劇場音楽総監督。同劇場で最近指揮した主な公演に、『ローエン格林』『ルル』『ホフマン物語』『エレクトラ』『オテロ』『ヴォツェック』『オテロ』トリストンとイゾルデ』などがある。15/16シーズンにベルリン・ドイツ・オペラのカペルマイスターを務め、以後同劇場にたびたび登場、『コジ・ファン・トゥッテ』『ドン・ジョヴァンニ』『椿姫』を指揮、バットイステッリ『パゾリーニのテオレマ』(世界初演)で特に広く高評を得る。ベルリン州立歌劇場へは『春の祭典』でデビューし、『セビリアの理髪師』『ねじの回転』などを指揮している。ブレゲンツ音楽祭へ19年以来、『ドン・キホット』『リゴレット』などで登場。『カナディアン・オペラ・カンパニー、イスラエル・オペラ、パレルモ・マッシモ劇場、ノルウェー国立オペラへも客演。ベルリン州立歌劇場管弦楽団(ベルリン・シュターツカペレ)、ロサンゼルス・フィル、ドレスデン・フィル、ミュンヘン交響楽団、MDR交響楽団、ヘルシンキ・フィル、RTÉ国立交響楽団、フィレンツェ五月音楽祭管弦楽団、イスラエル・フィルカメラータ・ザルツブルク、バーゼル交響楽団などにも客演している。新国立劇場初登場。



【演出】ハインツ・ツェドニク

Heinz ZEDNIK

ウィーン生まれ。1964年グラーツ歌劇場と契約を結び、翌年、ウィーン国立歌劇場に移る。80年には宮廷歌手の称号を授与される。94年ウィーン国立歌劇場の名誉会員となり、97年にはフィデリオ・メダルを授与されている。これまでにバイロイト音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、バイエルン州立歌劇場など、世界の主要な歌劇場に出演。オペラとオペレッタのレパートリーは100役を超える。特に『こうもり』に関しては4役をレパートリーにしており、この演目に関してのエキスパートとして知られている。新国立劇場には、2004年『スペインの時』トルケマダ、『サロメ』ヘロデ、『ファルスタッフ』医師カイウスに出演。06年本プロダクションで演出家として世界デビューを果たし、09年、11年、15年、18年、20年、23年に再演、今回が7度目の再演となる。



【ガブリエル・フォン・アイゼンシュタイン】トーマス・ブロンデル(テノール)**Thomas BLONDELLE**

ベルギー出身。在学中にモネ劇場にデビューし『白いバラ』主役ハンス・ショルに出演。ブラウンシュヴァイク州立劇場専属歌手を務めた後、2009～23年はベルリン・ドイツ・オペラ専属歌手として『魔笛』タミーノ、『ラインの黄金』ローゲ、『サロメ』ヘロデ、『ナブッコ』イズマエーレ、『さまよえるオランダ人』エリック、『パルジファル』タイトルロール、『ペレアスとメリザンド』ペレアスなどに出演。ほかに、バイエルン州立歌劇場『ラインの黄金』フロー、『リア』ケント伯爵、サイトウ・キネン・フェスティバル『火刑台上のジャンヌ・ダルク』テノール・ソロ、オランダ国立オペラ『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』ダーヴィット、エクサン・プロヴァンス音楽祭『ヴォツェック』鼓手長、ブレゲンツ音楽祭『魔弾の射手』マックス、フランクフルト歌劇場、ザクセン州立歌劇場『サロメ』ヘロデ、パリ管、ケルン・フィル、ドレスデン音楽祭、ルツェルン音楽祭の『ジークフリート』タイトルロールなどに出演。25/26シーズンは、アン・デア・ウィーン劇場、新国立劇場、ベルリン・ドイツオペラで『こうもり』アイゼンシュタイン、ベルリン・ドイツ・オペラ『ラインの黄金』ローゲ、ドレスデン・ウィル『エレクトラ』エギスト、ハンブルク州立歌劇場『フィレンツェの悲劇』グイド・バルディなどに出演する。新国立劇場初登場。

**【ロザリンデ】サビーナ・ツヴィラク(ソプラノ)****Sabina CVILAK**

スロヴェニア・マリボール生まれ。2003年ハンブルク州立歌劇場に『トゥーランドット』リユーでデビュー、同役をシンガポール、サヴォンリン音楽祭でも歌う。04/05シーズンよりウィーン国立歌劇場専属歌手となった後フリーとなる。トリエステ、ケルン、パームビーチ、ヘルシンキ、香港、ベルリン、ボローニャで『カルメン』ミカエラ、『ラ・ボエーム』ミミ、『オテロ』デズデーモナ、『道化師』ネッダを歌い成功を収める。ヘッセン州立歌劇場(ヴィースバーデン)『カーチャ・カバノヴァ』タイトルロール、『エウゲニ・オネーギン』タチヤーナ、『ワルキューレ』ジークリンデ、『トゥーランドット』リユー、『カルメル会修道女の対話』ブランシュ、スロヴェニア国立歌劇場で『トゥーランドット』リユー、『ラインの黄金』フライアに出演。最近及び今後の出演に、スロヴェニア国立歌劇場『シモン・ボッカネグラ』『アンドレア・シェニエ』『マノン・レスコー』『トスカ』『蝶々夫人』、フランクフルト歌劇場『ムツェンスク郡のマクベス夫人』、フィンランド国立オペラ『トゥーランドット』、ヘッセン州立歌劇場『カーチャ・カバノヴァ』『イエヌーファ』『蝶々夫人』がある。新国立劇場では23年『タンホイザー』エリーザベトに出演した。

**【フランク】レヴェント・バキルジ(バリトン)****Levent BAKIRCI**

アンカラ出身。2008年～11年プレーメン歌劇場専属歌手。15～18年はニュルンベルク州立歌劇場専属歌手として、『ドン・ジョヴァンニ』、『魔笛』パパゲーノ、『アルジェのイタリア女』タッデオ、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、『カルメン』エスカミーリョ、『ラ・ボエーム』マルチェット、『ボリス・ゴドゥノフ』シチエルカーロフなどを演じる。最近ではチリ・サンティアゴ市立劇場『ドン・ジョヴァンニ』、パルマ・ヴェルディ音楽祭『一日だけの王様』、フィレンツェ歌劇場『囚われ人』、『リア』グロスター公、メキシコ国立歌劇場『ラインの黄金』アルベリヒ、ニュルンベルク州立歌劇場『マノン』レスコー、ブルノ・ヤナーチェク音楽祭『死者の家から』、トゥールーズ・キャピトル劇場『囚われ人』、ポーランド国立歌劇場『白鯨』、イスラエル・オペラ『ルチア』エンリーコ、イスタンブール歌劇場『愛の妙薬』ベルコーレ、アンコーナ歌劇場『魔笛』パパゲーノ、ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場『こうもり』フランク、ハレ歌劇場『リゴレット』タイトルロールに出演。最近では、フェニーチェ歌劇場『人生は夢』、フィレンツェ歌劇場『若き貴族』の出演がある。新国立劇場初登場。

**【オルロフスキー公爵】藤木大地(カウンターテナー)****FUJIKI Daichi**

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。文化庁派遣芸術家在外研修でボローニャに留学後、ウィーン国立音楽大学大学院文化経営学修了。2012年、国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ音楽コンクールにてハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。13年、ボローニャ歌劇場のグルック『クレーリアの勝利』マンニオでヨーロッパ・デビュー。同劇場にバッティステッリ『イタリア式離婚狂想曲』カルメロで出演。17年、ウィーン国立歌劇場にライマン『メデア』ヘロルドでデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルが絶賛を博す。オペラではパッハ・コレギウム・ジャパン『リナルド』タイトルロール、全国共同制作オペラ『こうもり』オルロフスキー公爵、東京芸術劇場コンサートオペラ『美しきエレヌ』オレステスなどに出演。新国立劇場へは03年『フィガロの結婚』ドン・クルツィオへ出演、カウンターテナーとして『夏の夜の夢』オーベロン、『スーパーエンジェル』アキラ、『ジュリオ・チェザレ』トロメーオに出演している。洗足学園音楽大学客員教授。横浜みなとみらいホール 初代プロデューサー(2021-2023)。大和高田さざんかホール レジデント・アーティスト。

**【アルフレード】伊藤達人(テノール)****ITO Tatsundo**

東京藝術大学音楽学部音楽科卒業、同大学院修士課程修了。新国立劇場オペラ研修所第14期修了。文化庁在外研修員としてベルリンにて研鑽を積む。東京二期会『パルジファル』タイトルロール、『影のない女』皇帝などに出演。日生劇場では『ヘンゼルとグレーテル』魔女、『ランメルモールのルチア』アルトゥーロなどに出演。哲学者鈴木大拙の半生を描くオペラ『禅』に鈴木大拙役で出演。オペラのほか、15年新国立劇場演劇部門のミュージカル『パッション』にトラツ中尉で出演。新国立劇場オペラ公演では『夜鳴きうぐいす』漁師、『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』ダーヴィット、『こうもり』アルフレード、『さまよえるオランダ人』舵手に出演している。25/26シーズンは『ヴォツェック』アンドレス、『こうもり』アルフレードに出演する。二期会会員。



【ファルケ博士】ラファエル・フィンガーロス(バリトン)**Rafael FINGERLOS**

ザルツブルク出身。2015年にザルツブルク音楽祭のヤング・シンガーズ・プロジェクトに参加し、16年にトーマス・アデス『皆殺しの天使』世界初演のパブロ役で同音楽祭に再登場。同年ザクセン州立歌劇場へ『魔笛』パパゲーノでデビュー。16/17シーズンから19/20シーズンまでウィーン国立歌劇場専属歌手となり、同歌劇場来日公演の『ナクソスのアリアドネ』ハルレキンに出演後、同劇場で『セビリアの理髪師』フィガロでデビューし、『こうもり』ファルケ、『夏の夜の夢』ディミートリアス、『魔笛』パパゲーノ、『愛の妙薬』ベルコーレなど多くの役を歌う。テアトロ・レアル『軍人たち』、ザクセン州立歌劇場『ナクソスのアリアドネ』ハルレキンなどに出演。22年、ミラノ・スカラ座へハルレキン役でデビュー。近年では、ブエノスアイレス・コロソ歌劇場『メリー・ウィドウ』ダニロ、ガーシントン・オペラ『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、ザクセン州立歌劇場『こうもり』ファルケ博士に出演。リサイタルを活動の中心とし、ウィーン・コンツェルトハウス、ウィーン学友協会、ウィーン交響楽団などオーストリア及び国際的な音楽祭やコンサートホールに多数出演すると共に、オラトリオやミサ曲でも各地に招かれている。新国立劇場初登場。

**【アデーレ】マリア・シャブーニア(ソプラノ)****Maria CHABOUNIA**

ミンスク出身。ベラルーシ国立音楽アカデミー卒業。2014年ヴァイカースハイム・DEBUT 声楽コンクール第2位、15年ミンスク・オペラ・コンクール第1位、18年マルセイユ・オペラ・コンクール最優秀フランス・アリア解釈賞および聴衆賞などを受賞。ロッシェニ・アカデミーに参加し、ロッシェニ・オペラ・フェスティバルで『ランスの旅』コルテーゼ夫人に出演。マルメ歌劇場『リゴレット』ジルダ、ベラルーシ・ポリショイ劇場『皇帝の花嫁』のマルファ、ハンブルク州立歌劇場『オルフォイス』(テレマン作曲)オイリディーチェ、『チェネレントラ』クロリンダ、『魔笛』パパゲーナ、『フィガロの結婚』バルバリーナなどに出演。最近の出演作には、フランダース歌劇場『こうもり』アデーレ、ゲルトナープラッツ劇場『夢遊病の女』リーザ、マルメ歌劇場『フィガロの結婚』スザンナ、トッレ・デル・ラーゴ・ブッチェニ音楽祭およびフランダース歌劇場『ラ・ボエーム』ムゼッタなどがある。新国立劇場初登場。

**【プリント博士】青地英幸(テノール)****AOCHI Hideyuki**

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。これまでに『魔笛』タミーノ、ロッシェニ『オテロ』ロドリゴ、『ロメオとジュリエット』ロメオ、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『カルメン』ドン・ホセなどを演じている。宗教曲ソリストとしても活躍。新国立劇場では『おさん』『ホフマン物語』『ばらの騎士』『ムツェンスク郡のマクベス夫人』『ヴォツェック』『サロメ』『ファルスタッフ』『ジャンニ・スキッキ』『夏の夜の夢』『フィガロの結婚』『夜鳴きうぐいす』『ボリス・ゴドゥノフ』『子どもと魔法』『こうもり』『トリスタンとイゾルデ』『ジークフリート』ハイライトコンサートなど多数出演。25/26シーズンは『ヴォツェック』白痴、『こうもり』プリント博士に出演予定。成城大学合唱部ヴォイストレーナー。公津の杜男声合唱団指導者。コールペガサス・ヴォイストレーナー。足利オペラ・リリカ専属アーティスト並びに研究科講師。武蔵野音楽大学講師。

**【フロッシュ】ホルスト・ラムネク(バス・バリトン)****Horst LAMNEK**

ウィーン出身。ウィーン国立音楽大学声楽科を優秀な成績で修了。チューリヒ歌劇場オペラスタジオを経て、ウルム歌劇場、ベルリン・コミッシェ・オーパー専属歌手となり、現在はフリー。ボン、エッセン、レーゲンスブルク、ヴィースバーデン、リンツなどの歌劇場に客演を重ねる。最近では、レンヌ、パリ、トゥーロン、ナントで『こうもり』フランク、レジーオ・エミリアで『マハゴニー市の興亡』ビル、ソロトゥロンで『メリー・ウィドウ』ツェータ男爵、クスターノイブルク音楽祭『ホフマン物語』ルーテル/クレスペル、ミラノ・スカラ座、トリノ王立劇場、パリ・ペトルツェツリ劇場『サロメ』5人のユダヤ人などに出演している。新国立劇場14/15シーズン『こうもり』ではフランク、23/24シーズン『こうもり』ではフロッシュに出演した。

**【イーダ】今野沙知恵(ソプラノ)****KONNO Sachie**

桐朋学園大学音楽学部声楽専攻を首席で卒業、同大学研究科を修了。交換留学生としてサンタ・チェチーリア音楽院に留学。新国立劇場オペラ研修所第14期修了。第85回日本音楽コンクール声楽部門第3位受賞。平成26年度文化庁新進芸術家海外研修生。平成30年度第29回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。ドイツとイタリアに留学。東京・春・音楽祭『ローエン格林』小姓、日生劇場『魔笛』パパゲーナなどに出演。マラー『交響曲第4番』、ヘンデル『メサイア』、バッハ『マタイ受難曲』、ラター『レクイエム』などコンサートのソリストとしても活躍。新国立劇場では『修道女アンジェリカ』ドルチーナ、オペラ鑑賞教室・ロームシアター京都公演『魔笛』侍女Iに出演。25/26シーズン『愛の妙薬』ジャンネットにも出演予定。



新国立劇場 2025/2026 シーズン オペラ
令和7年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業
ヨハン・シュトラウス二世
こうもり
Die Fledermaus / Johann Strauss II
全3幕 <ドイツ語上演/日本語及び英語字幕付>

【公演日程】2026年1月22日(木)18:00/24日(土)14:00/25日(日)14:00/27日(火)14:00/29日(木)14:00
【会場】新国立劇場 オペラパレス
【チケット料金】S:29,700円・A:24,200円・B:17,600円・C:11,000円・D:7,700円・Z:1,650円
【前売り開始】2025年11月8日(土)10:00~
※予定上演時間 約3時間5分(休憩含む)

指揮	ダニエル・コーエン	ガブリエル・フォン・アイゼンシュタイン	トーマス・ブロンデル
Conductor	Daniel COHEN	Gabriel von Eisenstein	Thomas BLONDELLE
演出	ハインツ・ツェドニク	ロザリンデ	サビーナ・ツヴィラク
Production	Heinz ZEDNIK	Rosalinde	Sabina CVILAK
美術・衣裳	オラフ・ツオンベック	フランク	レヴェント・バキルジ
Set and Costume Design	Olaf ZOMBECK	Frank	Levent BAKIRCI
振付	マリア・ルイーゼ・ヤスカ	オルロフスキー公爵	藤木大地
Choreographer	Maria Luise JASKA	Prinz Orlofsky	FUJIKI Daichi
照明	立田雄士	アルフレード	伊藤達人
Lighting Design	TATSUTA Yuji	Alfred	ITO Tatsundo
再演演出	上原真希	ファルケ博士	ラファエル・フィンガーロス
Revival Director	UEBARU Maki	Dr. Falke	Rafael FINGERLOS
		アデーレ	マリア・シャブーニア
		Adele	Maria CHABOUNIA
		プリント博士	青地英幸
		Dr. Blind	AOCHI Hideyuki
		フロッシュ	ホルスト・ラムネク
		Frosch	Horst LAMNEK
		イーダ	今野沙知恵
		Ida	KONNO Sachie

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
バレエ	東京シティ・バレエ団
Ballet	TOKYO CITY BALLET
管弦楽	東京交響楽団
Orchestra	Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督 大野和士
Artistic Director ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/diefledermaus/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)
新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* Z席 1,650円: 公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】



【12】



【13】



【14】

新国立劇場『こうもり』2023年公演より 撮影:鹿摩隆司

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp>

東京都渋谷区本町 1-1-1 京王新線新宿駅より1駅、初台駅直結